

## V 研究活動と研究環境

### 1 専任教員の教育・研究業績

所属	英語観光学科	職名	教授	氏名	福智 佳代子	大学院における研究指導担当資格の有無 (無)
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日	概 要			
<b>1 教育実践における地域貢献</b>						
1)	小学校現場での英語活動実習授業実践	2006年～現在	海星キッズ・イングリッシュⅠ,Ⅱ,Ⅲの授業の一環として、近隣の神戸市小学校、幼稚園などで英語活動の実習授業を行っている。2009年度から学生は、イングリッシュ・サポーターとして、学級担任の英語活動の支援も行っている。			
2)	協定校美野丘小学校での英語活動実習授業実践	2006年～現在	海星キッズ・イングリッシュⅢの授業で、協定校美野丘小学校で、学生が活動案・教具などを準備し、学級担任と打ち合わせを行い、ティームティーチング授業を行っている。			
3)	公民館児童英語講座	2008年5月～現在	神戸市教育委員会より公民館での児童英語講座の講師を依頼され、海星キッズ・イングリッシュ受講者がチームを組み、授業を行っている。職場体験などではなく、大学で受講した講座内容を、現実に職業として活かしている実例である。教育委員会と連携する学生参加の地域交流である。			
4)	キッズ・イングリッシュ イベント	2011年3月～8月,12月	海星イングリッシュ・デイ、海星夏休みキッズイベント「英語であそぼ！」などの幼児・園児・小学生対象の公開講座、及び、絵本ワールドで、英語の絵本の読み聞かせ、など種々の英語活動を、キッズ・イングリッシュ受講学生が行い、地域貢献を行っている。			
5)	神戸市小学校での小学校英語活動授業支援及び教員研修	2009年～現在	高羽小学校、灘小学校、湊川多聞小学校、小寺小学校など			
6)	まちの寺子屋師範塾	2011年10月	兵庫県、大学コンソーシアムひょうご神戸との協働で、次世代育成支援について体系的に学ぶ企画ある。神戸海星女子学院大学は、「環境の中で育つ子供」の「こども目線からの環境学習・子育て提案」をした。			
<b>2 作成した教科書、教材、参考書</b>						
1)	さいたま市英会話年間カリキュラム及び活動案	2006年3月	2005年度、さいたま市は英語特区になったが、さいたま市の100小学校5,6年生及び50中学校1～3年生英会話の年間カリキュラム及び活動案を作成した。			
2)	文部科学省英語活動拠点校・広姫路市立畑小学校カリキュラム・活動案作成支援	2007年度～	文部科学省英語活動拠点校・姫路市立畑小学校に対して、カリキュラム・教材、活動案などの作成を行った。また学級担任、地域人材の研修も合わせて行っている。			
3)	文部科学省英語活動拠点校・福崎町立福崎小学校カリキュラム・活動案作成支援	2007年度～	文部科学省英語活動拠点校・福崎町立福崎小学校に対して、カリキュラム・教材、活動案などの作成を行った。また学級担任、地域人材の研修も合わせて行っている。			
4)	英語科教育のフロンティア	2012年8月	英語科教育法テキスト 青木昭六編 保育出版社			
<b>3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等</b>						
1)	小学校英語活動のできること、できないこと -中学校との関連を考えて-	2006年2月	英語特区さいたま市の英会話カリキュラム・活動案作成の観点からの小中連携についての現状報告 日本児童英語教育学会(JASTEC)			

2)	研究開発校と比較対象校の英語力の比較 —小学校英語活動の体験者と非体験者の中学校英語学習時に おける差の検証—	2007年6月	平成9年から10年間、年間35時間の英語活動を行ってきた研究開発校の5、6年生と、平成18年度より年間35時間の小学校英語活動を開始する小学校の5、6年生を対象に、小学校英語活動の中で接した表現や語彙がどの程度理解され記憶に残っているか、さらに当該児童の進学する中学校の1年生を対象に、中学校英語学習における言語理解や表現にいかに関与するかを測定可能な規準テストを用いて調査を行った。中部英語教育学会
3)	Meaningful Inputを目指した授業法に関する一考察 —研究開発校及び比較対象校児童が進学する中学校1年生の因子分析の結果を踏まえて	2007年8月	小学校英語活動を通じてふれた表現や語彙が、理解度と記憶の定着度にどの程度寄与するかについての調査研究を行っているが、その中で得られた因子分析の結果を踏まえ、小学校英語活動で優位な差が認められた要因とは何か、又その優位な差を生んだと考えられる活動とは何かを分析した。小学校英語教育学会(JESS)
4)	中学1年生における英語能力の性差の検証	2008年6月	場面やテーマに応じた基本的な単語や表現を用いて、音声面を中心とした活動をしてきた研究開発校での小学校英語活動経験者と非経験者では言語能力における性差はどのように現れているのか調査分析を行った。 中部英語教育学会
5)	拠点校2年間の歩み 学級担任の成長と今後の課題	2009年5月	拠点校姫路市立広畑小学校の英語活動は、2006年度より獨協大学講座ワークショップでの実習授業体験に始まる。2007年度には、文部科学省外国語活動拠点校に指定され、5年生及び6年生で年間35単位時間の英語活動を、同時に、全職員参加の校内研修を始めるなど、着実に歩みを進めてきた。その結果を報告する。JASTEC
6)	ふりかえりカードが示す児童の自己評価力	2009年7月	文部科学省外国語活動拠点校・広畑小学校児童が記入したふりかえりカードの結果をそれぞれ4,3,2,1点換算し集計を行った。児童が感じた「～ができた」は、児童の達成度、あるいは、立ち止まりを示していると考えられる。この結果は、児童の学習活動の達成度を表していると共に、指導者側が、どの部分にどのような手当をしなければならないかの指標となり、さらなる学習計画に反映される。すなわちこれは、指導目標・達成度、指導、評価の一体化に寄与できる。 JES
7)	電子黒板を使った効果的な活動	2009年9月	電子黒板の使用が推奨されているが、「英語ノート」の電子教材で英語活動を行っている学校の取り組みから、電子黒板などデジタル教材の利点、紙ベースのワークシート・教具などアナログ教材の利点を分析、デジタル・アナログを組み合わせた効果的な使用方法を紹介した。(大学英語教育学会)JACET
8)	評価に使えるワークシート簡単作成法	2010年7月	児童が楽しめる英語活動案の作成法と実際の活動を紹介する。同時に、小学校英語活動で育まれた素地が中学校英語教育につながっていく過程を実際の活動記録の形で残し、児童が自分の発達過程を辿ることが可能なポートフォリオ作成のために、楽しいワークシートの簡単作成法を紹介する。 JASTEC四国
9)	電子黒板の活用法と授業のあり方	2010年8月	視覚的に情報を共有することで全体学習が活性化される、学級担任が単独で授業をするツールとなるなど、電子黒板には「デジタル」ならではの利点がある。しかしながら、電子黒板はあるが、活用されにくい場合もあるのではないかと。電子黒板を活用できる環境整備、電子黒板を簡単に活用する方法と授業のあり方についての提案を行った。(外国語教育メディア学会)LET
10)	指導目標、授業、評価の一体化	2011年1月	ポートフォリオとしての振り返りカードの意義と児童が評価する英語活動のあり方を事例報告から紹介(JACET海外の外国語教育)
11)	指導目標、授業、評価の一体化を目指して—外国語活動拠点校・広畑小学校の取り組みから—	2011年6月	2010年3月の文部科学省中央教育審議会「児童生徒の学習評価の在り方について」の「報告」では、小学校英語活動については、「目標及び具体的な活動等に沿って評価の観点を設定し、「文章の記述による評価を行うこと」とされている。筆者は、指導目標、授業、評価の一体化を目指し、年間計画・活動案作成、新学習指導要領と評価の観点を活かした指導目標及び到達度設定、ふりかえりカードで自己評価し、その結果をフィードバック、指導目標、授業、評価の一体化のフレームを作り上げている。(関西英語教育学会)

12)	“Ability of the self-evaluation shown by the description of the sentence on the ‘furikaeri’ card child wrote”	2011年11月	An evaluation of the elementary school English activity should be performed not only by numerical value, but by the description of the sentence. I examined the evaluation by the description of the sentence and by using a measurable standard test for junior high school students. In this report, I examine an ideal method of evaluation of Japanese elementary school English activity from findings of evaluation by numerical value and evaluation by words. (Teaching & Learning English in Asia)
13)	日本の小学校英語活動の現状と課題	2011年11月	2011年より義務教育課あされた日本の英語活動は、日本の教員研修の実情、小中連携、文字指導など、多くの問題を抱えている。JACETコロキウム「日本の小学校英語活動の現状と課題」では、これら諸問題を明らかにし、日本に先んじて小学校英語教育を行っている海外の英語教育の実情から、日本の小学校英語活動のあり方を模索する。(JACETコロキウム)
14)	小学校英語活動と国際理解 ～世界の中の日本文化・日本の中の世界文化～	2011年10月	小学校英語活動では、外国語や異文化について体験的に理解を深めることが求められている。教育者は活動のバックグラウンドとして、文化を軸とした国際的視点をもつことが必要である。具体的な実践例の紹介を通じて「世界の中の日本文化」「日本の中の元・異文化」について考える。(神戸海星女子学院大学 公開講座)
15)	新旧教材比較 “Hi, friends !” Vs. 英語ノート	2012年5月	新教材HI, friends!と旧教材英語ノートの比較分析と使用法について(小学校英語研究会)
16)	小学校英語教育におけるゲームの有用性	2012年9月	小学校英語活動は、身近なコミュニケーションの場面を設定し、「聞く」「話す」などの音声面中心のコミュニケーション活動であり、ゲーム、各種アクティビティ等体験的な活動を通じて、「対話をする機会を十分に体験」させ、「繰り返し表現にふれる活動」を行う。本発表では、従来型のアナログゲームに関して、ゲームの種類、その活動形態、及び、言語習得面での有用性について論じる。(海星言語文化研究所)
17)	児童の評価Vs.先生の評価	2012年10月	新学習指導要領に示された3項目の指導目標、すなわち、A. 国際理解、B. コミュニケーションを図ろうとする力、そしてC. コミュニケーション能力の素地に対する児童の自己評価と教師による評価の結果が示唆するものとその相関、及び、教師による評価を、PCで、公平かつ客観的に、さらに簡便に行う方法の事例を紹介する。(JASTEC)
18)	Simple and Easy Evaluation Method Using a Pull-down Function of PC	2012年11月	I examined the evaluation with three investigation items which correspond to three guidelines for an English activity class by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), I introduce what a result of self-evaluation by children and evaluation by a teacher suggest, and correlation that is seen in investigation items between children and a teacher.(International Conference, ICT for Language Learning)
19)	PC プルダウンを利用した 簡単評価の取り組み	2013年11月	授業時間内に公平・妥当に評価するために、PCプルダウン機能活用した簡単評価法を紹介した。(JASTEC 秋期研究大会)
20)	Numerical evaluation by Role Playing Game (RPG) that children enjoy	2013年11月 November 18th-19th-20th, 2013	Children enjoy communicating with others in a RPG Game, and do not feel they are doing a test. In this process the game can measure the how well children understand the communication, and the numerical evaluation will be a part of the activities that children enjoy and further be motivated. Using the paper-based RPG, prior to the PC-RPG game, the awareness of children to the numerical evaluation is investigated.(International Conference of Education, Research and Innovation:ICERI2013)
21)	Development of Simultaneous Conversation Evaluation Program	Thursday 13 November 2014	Children enjoy communicating with others on the Role Playing Game (RPG). Moreover they are never aware of

22)	日本の小学校英語教育 教員養成の現状	2014年3月	2013年文部科学省から発表された「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」について、本学のキッズイングリッシュプログラム、現在の教員養成の現状 教育大学の取り組みから、指導体制など、現在の問題点の分析及び今後の課題について論じた。(JACET関西支部 海外の外国語教育研究会)
23)	「おうちでイングリッシュ」グローバル時代の子育て	2014年 4月5日(土)	過程で子育ての中で取り組める「グローバル化に対応した 新たな英語教育の在り方」について論じた。同時に、参加者は、親子で、実際の取り組み方の具体例を体験した。 ミセスの大学体験 サンケイリビング新聞社
24)	「小学校英語活動で電子黒板を利用した複数児童の同時音声診断教材の開発」	2014年 10月19日(日)	本研究で、年間35時間、最大40人の一斉授業の中で、児童一人一人が参加できる活動が可能なiPod・電子黒板を使用したデジタル英語活動ゲームコンテンツの開発を目指した。PC、電子黒板、iPodなどのICT機器を活用し、児童のインタラクティブな活動を支援できるデジタルコンテンツを開発、授業に取り入れることができれば、指導者側にとっては、指導内容や指導環境が均質化される。児童にとっては、DS、iPodなどのゲーム活動を楽しみながら、一人一人が「リスニング」内容が理解できたかを短時間で測り診断する手段となり、さらなる動機付けにつながるようになる。3小学校での検証結果を報告する。 JASTEC
25)	INSTRUMENTAL MOTIVATION IN ENGLISH ACTIVITIES AT A JAPANESE PUBLIC ELEMENTARY SCHOOL	2015年11月	Children enjoy communicating with others on Role Playing Games (RPG). Moreover they are never aware of taking diagnostic tests in English. This paper demonstrates the students' instrumental motivation in "English Activities." The computer software and the system between iPods and the electronic board intercommunication system of the RPG have been developed under this research project. The diagnostic tests on the game measure how well the students understand the communicative contents in English Activities at once.(8th International Conference of Education, Research and Innovation)
26)	小学校英語実践講座 「明日の授業に使えるノウハウ講座」	2009年8月～現在	授業運営法講座で、「担任中心の楽しい小学校英語活動を創るコツ」で効果的な授業運営のあり方とは何かを考え、『身近にある楽しい自文化発信・異文化理解活動を創るコツ』で国際理解・他教科関連の視点を取り入れた活動案と評価につながる楽しいワークシートを作成・模擬授業をするワークショップ形式の参加型の講座を行っている。
27)	“RPG Active Learning Software to evaluate the Literacy of children”	平成28年 11月17日	Children like Role Playing games (RPG). When they enjoy communicating with characters on the Game in English activity class, they are not aware of taking diagnostic tests in English. This paper introduces how well the active learning software contributes to evaluate children's literacy. The RPG server on the intranet has already been developed under this research project. The RPG active learning game diagnostic tests have been carried out on the first, the second and the fifth graders of an elementary school in Kobe, and the second graders in Himeji, Japan. The story of the RPG develops as a cosmic fantasy.
小学校英語活動支援及び教員研修			
1)	和泉市教育委員会 南池田小学校	2013年2月8日	活動案作成法と担任主導のティームティーチング英語活動
2)	和泉市教育委員会 南松尾小学校	2012年6月7日	平成24年度 使える英語プロジェクト事業研修会
3)	丹波市教育委員会 小学校外国語活動研修会	2012年7月27日	外国語活動を核にしたコミュニケーション能力の育成
4)	和泉市教育委員会 光明台北小学校	2012年9月13日	平成24年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業 指導助言
5)	和泉市教育委員会 青葉はつが野小学校	2012年11月29日	平成24年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業 指導助言

6)	和泉市教育委員会 南池田小学校	2013年2月8日	活動案作成法と担任主導のティームティーチング英語活動
7)	和泉市立伯太小学校 研修	2011年3月10日	簡単活動案作成法と担任主導の英語活動
8)	広畑校内研修	2011年7月21日	英語ノート活動案作成 担任主導の英語活動
9)	伯太小学校研修	2011年8月23日	英語ノート活動案作成 担任主導の英語活動
10)	緑が丘小学校研修	2011年8月30日	英語ノート活動案作成 担任主導の英語活動
11)	和泉市教育委員会 小学校教育研究部会 研修	2010年11月	学級担任主導で行う英語活動と英語ノートを使った活動案作成法、ティームティーチングと内容打ち合わせのコツなどについて、ワークショップ形式で模擬授業を行う参加型の研修を行った。授業法、実際の活動方法とその意義などについての講義を行い、理論と実践両面下欄の研修を行っている。
12)	文部科学省英語活動拠点校 姫路市立広畑小学校	2006年度～2010年度	カリキュラム・1～6年生活動案作成、教員研修など、文部科学省外国語活動拠点校姫路市立広畑小学校の英語活動の指導助言を行う。福智、獨協大学・児童英語ワークショップ受講獨協大学生、地域人材とのティームティーチング授業から、担任単独授業研修まで、授業支援すべての支援を行っている。2009年度は、評価・教材に関する文部科学省の拠点校に指定され、評価の実践を行い、福智は広畑の実践から指導目標・授業・評価の一体化の実証研究を行っている。
13)	文部科学省英語活動拠点校 福崎町立福崎小学校	2007年度～2009年度	カリキュラム・5、6年生活動案作成、教員研修など、文部科学省外国語活動拠点校福崎町立福崎小学校の英語活動の指導助言を行う。2009年1月には、『学級担任中心に行う小学校英語活動の進め方』の研修を行い、それまでのT.T.授業から、6年生は担任単独で英語活動すべてを行っている。
14)	和泉市立緑が丘小学校英語活動授業支援及び研修	2010年6月～現在	2010年度より、小学校英語活動の授業支援を桃山学院大学学生と行っている。8月には、学級担任主導で行う英語活動と英語ノートを使った活動案作成法などの研修をワークショップ形式で行っている。
15)	協定校神戸市立美野丘小学校英語活動授業支援及び研修	2006年度～現在	2006年度より、神戸海星女子学院大学・キッズイングリッシュ講座受講学生と英語活動支援を行っている。教員研修は、授業時間時に、福智と学級担任が授業を行い、その後、活動案作成法、英語ノートの効果的な活用法、授業法、授業運営などの研修を行っている。また2009年度には校区全体の校外研究会で英語活動授業を公開し、分科会では、中学校英語教諭との意見交換などで小中連携の一歩を踏み出している。
16)	神戸市立小寺小学校 小学校英語活動研修	2010年7月	学級担任主導で行う英語活動と英語ノートを使った活動案作成法などの研修をワークショップ形式で行っている。
17)	神戸市立湊川多聞小学校 小学校英語活動研修	2010年7月	小学校英語活動授業法、学級担任主導で行う英語活動と英語ノートを使った活動案作成法などの研修をワークショップ形式で行っている。
18)	西宮市立津門小学校 英語活動授業及び校内研修	2010年2月	「子ども活き活き！ 担任生き生き！ー明日の授業に役立つ英語活動のアイデアー」をテーマに、学級担任とのT.T.授業を行った後、英語活動研修を行う。
19)	文科省英語活動拠点校 岸和田市城内小学校 英語活動授業及び研修	2009年6月	ティームティーチング授業で行う英語活動授業公開と英語ノートを使った活動案作成法などの研修を行っている。
20)	神戸市立高羽小学校 神戸市立福住小学校 神戸市立摩耶小学校 各小学校教員研修及び授業支援	2009年度	授業時間時に、神戸海星女子学院大学キッズイングリッシュ受講学生も参加、学級担任とのティームティーチング授業を行い、午後、授業法、英語ノートを使った活動案作成法などの校内教員研修を行っている。
21)	神戸市立灘小学校 各小学校教員研修及び授業支援	2009年度	授業時間時に、神戸海星女子学院大学キッズイングリッシュ受講学生が英語活動実習として学級担任とのティームティーチング授業を行い、授業法、英語ノートを使った活動案作成法などの校内教員研修を行っている。

22)	京都府与謝野町教育委員会 研修	2008年8月	『ティーム・ティーチングを活かした小学校英語活動の進め方』をテーマに、英語ノートを使った実践事例紹介、授業法など与謝野町の全小学校教員参加の研修を行っている。
23)	三重県小学校英語研究会 講演	2008年8月	三重県小学校英語研究会において、「英語ノートを使った実践事例紹介、及び、ワークショップ」で、参加型のワークショップ&講演を行っている。
24)	大阪府教育センター後援「大学等オープン講座」	2008年7月	「桃山学院大学オープン講座」英語教員夏季ワークショップ (Summer Workshop for English Teachers) 小中高現職教員の夏期休暇中研修として、小学校英語活動の授業法と進め方についての参加型の研修を行った。
25)	文科省英語活動拠点校 与謝野町立石川小学校研修	2008年6月 2008年2月	『新学習指導要領が示す小学校英語活動のあり方と授業の進め方』 『小学校で目指す英語活動とその課題』
26)	大阪教育大学附属池田小学校 小学校英語活動研修	2008年1月	『英語活動における教材・教具の選定と効果的な活動、系統的なカリキュラム開発・年間指導計画の作成』
27)	神戸市教育委員会 神戸市小学校英語活動研修講座	2007年8月	『ティーム・ティーチングにおける担任の役割』
28)	「小学校英語実践講座」 神戸海星女子学院大学サマースクール 免許状更新講習	2009年～現在	小学校英語活動講座 授業運営

4 その他教育活動上特記すべき事項

II 研究活動						
著書・論文等の 名称	単著・ 共著の 別	発行または発表 の 年月 (西暦でも 可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数	
著書						
1	小学校外国語活動におけるICT教材の意義と効果的な活用法	共著	平成22年12月	CIEC	CIEC会誌編集委員会	36頁～38頁
2	“Ability of the self-evaluation shown by the description of the sentence on the ‘furikaeri’ card child wrote”	単著	平成23年 11月10日	Teaching & Learning English in Asia TLEiA4	2011年	
3	Simple and Easy Evaluation Method Using a Pull-down Function of PC	単著	平成24年 11月16日	“ICT for Language Learning”, PIXEL ISBN:978-88-6292	Kayoko, FUKUCHI ICT for Language Learning	p. 439-442
4	英語科教育のフロンティア	共著	平成24年8月	保育出版社	青木昭六編	P. 72, p. 126
5	Numerical evaluation by Role Playing Game (RPG) that children enjoy	単著	平成25年 11月19日	the 6th International Conference of Education, Research and Innovation:ICERI ISBN: 978-84-616-3849-9	Kayoko, FUKUCHI	p. 2912-2915
6	Development of Simultaneous Conversation Evaluation Program with Electronic Whiteboard in Public Elementary School	共著	平成26年 11月13日	ICT for Language Learning 2014 ISBN:978-88-6292-548-8	FUKUCHI, Kayoko KANAZAWA, Naoshi	p. 502-505

7	INSTRUMENTAL MOTIVATION IN ENGLISH ACTIVITIES AT A JAPANESE PUBLIC ELEMENTARY SCHOOL	共著	平成27年 11月16日	8th International Conference of Education, Research and Innovation, 16th- 18th of November ISBN:978-84-608-2657-6	FUKUCHI, Kayoko KANAZAWA, Naoshi	
8	誌上ワークショップ Speakingの評価		平成27年 11月14日	英語教育12月号 ISSN:0913-3917	福智佳代子 畑江美佳	p. 54-55
9	“RPG Active Learning Software to evaluate the Literacy of children”	共著	平成28年 11月17日	International Conference ICT for Language Learning 2016	福智佳代子 金山 敬	p. 205-210
論文						
1	小学校英語教育における ゲームの有用性	単著	平成26年 3月	神戸海星女子学院大学 言語文化研究所 No. 1	2014年3月	p. 15-22
2	小学校英語活動 児童と先生の評価の比較 Comparison of Evaluation between children and a Teacher	単著	平成25年3月	神戸海星女子学院大学研 究紀要第52号 ISSN 1346-8154	2013年	p. 47-54
3	中学校1年生における英語 能力の性差の検証 小学校英語研究開発校出 身者と非研究開発校出身 者の比較	単著	平成24年 3月2日	神戸海星女子学院大学研 究紀要第50号 2011 ISSN 1346-8154	2012年	p. 95-100
4	2. 児童が評価する英語活 動のあり方 ーふりかえりカードの達 成感と相関の分析からー	単著	平成23年 3月8日	神戸海星女子学院大学研 究紀要第49号 ISSN 1346-8154	2011年	p. 47-56
5	3. 「ふりかえりカード」 が示す児童の自己評価力	単著	平成22年 3月20日	小学校英語教育学会紀 要、第10号、	(10) (20100320) 2010年3月20日	7頁-12頁
6	4. 神戸海星女子学院大学 サマースクール「小学校 英語実践講座」小学校英 語活動指導者養成を指 して	共著	平成21年3月	神戸海星女子学院大学研 究紀要第48号 ISSN： 1346-8154	平田淳子、石原敬子	163頁～173頁
7	5. 「小学校英語研究開発 校における英語能力の検 証ー表現及び語彙におけ る理解度と記憶の定着度 を中心にー」	単著	平成19年 11月30日	STEP BULLETIN vol.19 2007 ISSN 1348-7949	2007年11月30日 初版発行	158頁～182 頁
8	6. 小学校における他言 語・多言語教育の意義 『ハリー・ポッターと賢 者の石』が評価される日 を願って	単著	平成19年 月	Interactive 神田外語大学 英語教育		10頁～12頁
9	7. 小・中・高一貫のナ ショナルシラバス試案 - 日本の英語教育変革のた めに-	共著	平成17年 月	近畿大学語学教育部紀要	JASTECプロジェクトチーム	

Ⅲ 学会等および社会における主な活動	
	日本児童英語教育学会(JASTEC) 理事
	中部英語教育学会、関西英語教育学会、全国英語教育学会
	外国語教育メディア学会(LET)
	小学校英語教育学会(JES)
	大学英語教育学会(JACET)
	CIEC
	ATELAS